

## 切除不能進行・再発大腸がんについて

### 当院でがん遺伝子パネル検査を受けた方へ

#### 研究:「当院における切除不能進行・再発大腸癌に対するがん遺伝子パネル検査の実態調査」の実施について

##### 1. 研究の対象

2019年6月～2024年4月に切除不能進行・再発大腸がんについてがん遺伝子パネル検査を受けた方。

##### 2. 研究目的・方法

2019年6月に標準治療がない固形がん患者又は局所進行若しくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者さんを対象としてがん遺伝子パネル検査が保険診療で実施可能となりました。切除不能進行・再発大腸がん患者さんでは初回治療前に治療法の選択に有用な遺伝子変異の有無を評価する検査が以前より行われており、がん遺伝子パネル検査を行うことで新たな治療方法が見つかる可能性は多くはありません。この研究では、保険診療としてがん遺伝子パネル検査を実施した切除不能進行・再発大腸がん患者さんを対象としてがん遺伝子パネル検査によりどのような治療法が提案されたか、また実際にその治療に結びついたか把握し、今後の診療に役立てることを目的としています。診療録および治療データベースより診療情報を収集して、後ろ向きに検討します。

##### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、原発巣、病理診断、RAS/BRAF/HER2/MSIの測定結果、治療歴、CGPの解析結果、エキスパートパネルによるレポート、CGP後の治療内容、最終生存確認日など

当院で情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2024年7月1日

##### 4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院実施承認後～2025年3月末、予定症例数は四国がんセンターで50例

##### 5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会で発表します。

##### 6. 個人情報の取り扱いについて

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

##### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究機関】国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科

【研究責任者】小森梓

【連絡先】〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160

国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科 小森梓

TEL: 089-999-1111 (代表)

FAX: 089-999-1128

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい